

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和5年度丹波篠山市地域公共交通会議(第4回)

2 開催日時

令和5年12月19日(火)9時30分から11時40分

*受付時間(9時00分から9時20分まで)

3 開催場所

丹南健康福祉センター 2階研修室

4 会議に出席した者の氏名(敬称略)

(1) 委員(19名)

大谷大学 野村 実

丹波篠山市 堀井 宏之

株式会社ウイング神姫 佐野 卓也

日本交通株式会社 田中 浩

公益社団法人兵庫県バス協会 新屋敷 昭一

丹波篠山市社会福祉協議会 酒井 裕美

丹波篠山市自治会長会 山田 俊朗

丹波篠山市老人クラブ連合会 河南 輝子

丹波篠山市民生児童委員協議会 泉 より子

丹波篠山市PTA協議会 林 謙一郎

国際ソロプチミストささやま 上田 照代

後川郷づくり協議会 福本 法子

大芋地区有償運送事業運営協議会 藤田 邦子

神戸運輸監理部兵庫陸運部 中西 克之

株式会社ウイング神姫労働組合 石田 光

日本交通三丹地区労働組合 阪下 善博

篠山警察署 篠田 敦志

一般社団法人丹波篠山市観光協会 今井 めぐみ

丹波篠山市教育委員会 西羅 忠和

(2) 市関係部署（４名）

丹波篠山市企画総務部 竹見 聖司
丹波篠山市保健福祉部 福西 寿美子
丹波篠山市まちづくり部 近成 和彦
丹波篠山市観光交流部 波部 正司

(3) 執行機関（４名）

創造都市課 藤田 尚位、細見 英志、中森 恵佑、猪口 亘

(4) その他

株式会社ウイング神姫篠山営業所 岡田 清
株式会社ウイング神姫 豊住 健太
中央復建コンサルタンツ株式会社 北野 幹

5 傍聴人の数

1人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

公開

7 会議資料の名称

(1) 次第

(2) 【協議事項１】丹波篠山市地域公共交通計画の素案について

(3) 【協議事項１】補足資料

(4) 【協議事項２】コミュニティバスAルートの路線変更について

(5) 【報告事項１】西紀北地区路線バス乗車体験会について

(6) 【報告事項２】デマンド型乗合交通の導入について（デマンド型乗合バス実証運行計画骨子（案））

(7) 【報告事項２】コミュニティバス「ハートラン」の状況について

8 審議の概要

別紙のとおり

別紙

発言者	審議内容及び発言内容
野村会長	<p>■開会</p>
野村会長	<p>1. 開会あいさつ</p>
事務局	<p>ここからは、会議の進行を野村会長にお願いする。</p>
野村会長	<p>2. 協議事項</p>
事務局	<p>では協議事項に移る。</p>
野村会長	<p>「【協議事項1】丹波篠山市地域公共交通計画の素案」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【協議事項1】丹波篠山市地域公共交通計画の素案」について説明</p>
事務局	<p>なお、本会議でお示ししている資料はさらに修正等を要するものである。</p>
事務局	<p>また、今後、パブリックコメントという形で市民の皆さまに広く意見を伺う場を設ける予定である。</p>
野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何かご意見・ご質問等はあるか。</p>
野村会長	<p>特に、委員の皆様には各部会や各々の立場において、様々な意見をいただいたが、しっかりとそれらが反映されているかについて確認いただきたい。</p>
山田委員	<p>資料79ページのサイクルバスについて質問する。</p>
山田委員	<p>高校生が、行きは自転車で通学し、帰りはバスに自転車を積んで帰宅できれば便利だと思ひ、交通事業者に問い合わせたことがあるが、実現が難しいとの回答を得た。何か実現に向けて具体的な話が進んでいるのか。</p>
事務局	<p>バス車両に自転車を積載するには、車体にキャリアを取り付けて自転車を積載する方法をとる。このキャリアが取り付けられる車種が限定されることから、すぐに実現できるものではない。</p>
野村会長	<p>前回の会議で説明したとおり、篠山鳳鳴高校の学生より、路線バスのダイヤを変更することで鉄道等への接続がうまくいく旨の提案があったところである。サイクルバスとなると自転車の積載台数に限りがあることもあり、高校生の通学の利便性の向上のためにできることを検討・調整していくものである。</p>
今井委員代理	<p>現在、観光等の会議に出席するとヘリコプターでの旅先までの移動が話題になることが多い。また、兵庫県が観光にかかるヘリコプターでの移動の実現に力を入れている。</p>
今井委員代理	<p>丹波篠山市は特産品が高価であり、城下町等の観光地をゆっくり巡ることができる富裕層の観光地となっており、今後、ヘリコプターで伊丹空港から移動してくる観光客が現れることが想定される。</p>
今井委員代理	<p>交通手段も進化しており、e-BIKEや電動キックボードが都会では当たり前になっているし、無人タクシーが走っている国もある。観光地の混雑解</p>

	<p>消のための補助も観光庁により充実してきているところである。</p> <p>地域公共交通計画では、この先1～2年の話をしていると思うが、その先も見据えた新モビリティの導入について積極的であってもよいのではと考える。</p>
野村会長	<p>現時点で、丹波篠山市内において、飛んでいないヘリコプターや走っていない無人タクシーについて計画に落とし込むことは難しいが、将来的には新技術と既存交通を紐づけるようなことも必要になってくると思う。</p>
野村会長	<p>他に、ご意見やご質問等あるか。</p>
野村会長	<p>無いようなので、「【協議事項1】丹波篠山市地域公共交通計画について」に賛同する方は挙手願う。</p> <p style="text-align: center;">～全員挙手～</p>
野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【協議事項1】丹波篠山市地域公共交通計画について」を承認する。</p> <p>なお、公共交通計画については、事務局より案内があったとおり、今後も修正を実施するので、お気づきの点等あれば事務局まで報告いただきたい。</p>
野村会長	<p>続いて、「【協議事項2】コミュニティバスAルートの路線変更」について、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【協議事項2】コミュニティバスAルートの路線変更」について説明</p>
野村会長	<p>ただ今説明のあったことについて、何かご意見・ご質問等はあるか。</p>
堀井副会長	<p>これまでは、路線が交差している「味間奥口」に2度停車していたが、ルートの変更により1度の停車となる。ダイヤの変更による乗車漏れ、降車忘れ等のトラブルも予想されるので、地域への説明を丁寧に実施してほしい。</p>
林委員	<p>これまでバスが走行しなかった道路にバスが走行するということなので、子どもが事故にあわないように注意喚起を徹底してほしい。</p>
野村会長	<p>変更後の運行時期はいつか。</p>
事務局	<p>来年の3～4月頃の想定である。</p>
野村会長	<p>ダイヤ改正に合わせるということなので、その前後に各所に説明を実施してほしい。</p>
事務局	<p>ほかにご意見やご質問等はあるか。</p>
野村会長	<p>無いようなので、「【協議事項2】コミュニティバスAルートの路線変更について」に賛同する方は挙手願う。</p>

	～全員挙手～
野村会長	挙手多数と認めるので、「【協議事項2】コミュニティバスAルート の路線変更について」を承認する。
野村会長	3. 報告事項 続いて、報告事項に移る。 「【報告事項1】西紀北地区路線バス乗車体験会」について、事務局より説明願う。
事務局	「【報告事項1】西紀北地区路線バス乗車体験会」について説明
野村会長	ただ今説明のあったことについて、何かご意見・ご質問等はあるか。
堀井副会長	今回の乗車体験会に参加された8名の方は、すでにNicoPa（ニコパ） カードはお持ちだったか。
事務局	1名のみが既に所持されており、8名中7名がNicoPa（ニコパ）カード をお持ちではなかった。
野村会長	他の地域で実施する場合、既にNicoPa（ニコパ）カードをお持ちの方の 参加を誘引する場合、割引券や買い物券等、何をインセンティブにするか の検討が必要である。
野村会長	今回の乗車体験会に参加された8名の方は、路線バスの利用経験がない 方か。
事務局	初めて利用される方もいたが、何十年も前に利用して以来の利用である という方もいらっしゃった。当時とはバスの乗り方も変わっており、初め ての利用と変わらない状況であるとの意見があった。
泉委員	民生児童委員や老人クラブ連合会、自治会長会等の協力による参加者募 集とあるが、それぞれの主体に募集人数を割り振っての募集としてほし い。
事務局	参加者募集において、一度に民生児童委員や老人クラブ連合会、自治会 長会等すべての団体に協力要請することは考えていない。 路線バスに乗るという手前、人数が増えすぎると問題があるので、複数 団体で参加者募集するのではなく、実施ごとに協力していただく団体につ いては検討する。 一度、民生委員さんに路線バス乗車体験会に参加してもらうこともあつ てもいいと考える。
野村会長	ほかにご意見やご質問等はあるか。
野村会長	お気づきの点等あれば、事務局まで報告願う。
野村会長	続いて、「【報告事項2】デマンド型乗合交通の導入」について、事 務局より説明願う。

事務局	「【報告事項2】 デマンド型乗合交通の導入」について説明
野村会長	ただ今説明のあったことについて、何かご意見・ご質問等はあるか。
野村会長	デメリットの説明の中で、90分の待ち時間が発生する可能性について言及されていたが、これについては、制度設計やシステムの設定により回避することができるものであるため、今後、検討を続けていくものであることを補足する。
山田委員	乗合交通ということで2人以上での乗合を前提とし、1人だけの予約では運行しないということか。
事務局	あくまで、乗合交通であることから2名以上の乗り合わせが発生する可能性があるということであり、1名のみ予約でも運行する。
山田委員	コミュニティバス利用者一人当たりの運送コストについての試算で、コストが増えるという理解で間違いないか。
事務局	現在のコミュニティバスBルートの日々の利用者数を、そのままデマンド型乗合交通のコスト試算に当てはめるとコスト増となる。 一方で、現在の定時定路線型の運行が受け入れられていない状況を踏まえ、もっと細かく停留所を設定したデマンド型の公共交通を導入すると、利便性向上に繋がることから利用者は増加するものと考えられる。仮に、1日の利用者数が12人になると、コミュニティバスの他のルートの利用者一人当たりの運送コストと同等に抑えられることを示したものである。
酒井委員	周知方法はどのようにお考えか。 社会福祉協議会の利用者の方等に、デマンド型乗合交通の案内をできればと考えている。社会福祉協議会のみならず、高齢者等部会の委員の皆さまの参加母体でもそれぞれで周知いただくほうが良いと考える。
事務局	当然、市の広報誌等を用いた周知は実施するが、例えば、高齢者大学の参加者や民生児童委員さんや社会福祉協議会が関わっておられる方への周知も必要であると考えている。メインターゲットを高齢者や障がい者と考えているので、幅広く周知を行いたい。また、可能な範囲で希望される自治会への説明も行う想定でいる。 一方で、現時点では交通事業者と実施内容について協議しているところであるので、開始時期等については来年度早々の開始とは言い難い点についてはご理解いただきたい。
上田委員	東部地区での実証運行後は、全市に拡大するのか。
事務局	実証運行にて検証の上、コミュニティバスのA・Cルートの見直しを検討し、当該エリアで拡大していく予定である。
山田委員	デメリットで待ち時間の説明があったが、病院の予約に間に合わない等が発生してしまうのではないか。
事務局	あくまで最悪のパターンのデメリットを挙げている。

野村会長	<p>先ほど、野村会長からも説明があった通り、予約システムの設定等で回避できるものであると考えている。</p> <p>また、予約型であるので予約のタイミングで車の空き状況が変わってくる。早めの予約であれば予約を取りやすいし、待ち時間も発生しにくいと思うが、利用直前で飛び込みの予約を取ろうとすると、待ち時間が発生することが想定される。</p> <p>事務局の説明の通り、制度やシステムの工夫で回避できるものであるので、今後検討していく。</p> <p>また、共創による協議会方式を検討されるのことだが、是非とも医療や福祉分野とも連携してほしい。到着時間が前後することについて、何度も徹底して説明している導入自治体の例もあるので、きちっと想定どおりの時間に運行することが難しい交通モードであることを周知する必要がある。</p>
今井委員代理	<p>待ち時間が目に見えるほうが良い。</p> <p>また、停留所をむやみに増やすのではなく、スポンサーを募って飲食店や商店に停留所を設置する方法で、赤字を少しでも圧縮することを考えてもよいと考える。</p> <p>さらに、観光客が公共交通を使うということは、マイカー移動が減るということであり、渋滞回避につながる。観光のハイシーズンに運行台数を増やすことも考えてほしい。</p>
事務局	<p>予約時点で到着予定時間がわかり、現在の車両位置についても目に見えるシステムの導入をしたいと考えている。</p> <p>停留所のスポンサーについては、デマンド型乗合交通の運営自体を、多様な主体による共創により実施したいと考えている。バス停留所を設置できる事業者から協賛金をいただくことも考えられるが、公共交通の利用者に対する割引券の交付等、サービスの面で共に事業を推進していくことも考えられる。</p> <p>渋滞対策については、確かに公共交通によりお越しいただくことが渋滞対策になるが、デマンド型乗合交通の実証事業中は3台の車両のみでの運行となることから、10月の観光客を拾いきれるとは考えていない。</p> <p>ご提案について検討の余地はあるが、現状では公共交通すら渋滞に巻き込まれていることから、デマンド型乗合交通を渋滞対策と考えることは厳しい。</p>
野村会長	<p>待ち時間の見える化については、事前予約性にするのであれば事前公表も可能である。アプリで解決する方法もあるし、それ以外の方法で解決する方法もあると思う。</p> <p>停留所のスポンサーについては、他地域で「チョイソコ」というデマンド型乗合交通のアプリの中で、エリアスポンサーという形で地域の方から協賛金をいただくような事例もある。</p>
野村会長 事務局	<p>停留所を増やすと思うが、物理的にポール等を設置するのか。</p> <p>例えば、集落のゴミステーション単位で停留所を設けることが考えられる。その場合、ごみの回収ボックスの金網に停留所の看板等を設置するような他地域での事例があるので、そういったことを想定している。</p>

野村会長	停留所については、今後、警察との調整があると思うが、制度の仕掛けの部分で集落の薬局やスーパーマーケット、医療施設、福祉施設の方々に協力いただける取り組みにしていければと考えている。
新屋敷委員	事務局から、デマンド型乗合交通を将来的に市内全域に拡大する旨の説明があった。そうすると既存のバス路線に対して影響が及ぶ懸念があるので、行き過ぎた導入とならないようにバランスを取りながら実施してほしい。
事務局	おっしゃるとおりである。ここに至るまでに、株式会社ウイング神姫と日本交通株式会社との協議を重ねているところであるが、今後も、事業実施に向けて両事業者と詳細を詰めていく際に、密にコミュニケーションを取りながら、ご懸念の部分に配慮しながら事業を実施していきたい。
野村会長	逆に言えば、実証事業を行っていく中で、路線バスに適した地域なども浮き彫りになっていくはずなので、路線の維持とデマンド型乗合交通の組み合わせが重要であると考えます。
事務局	交通事業者に伺うが、買い物をされた高齢者等が降車される際に、サポートをしていただくことは可能なのか。
佐野委員	バス事業者としては、降車時のサポートについては違う方面の話であり、難しいと考える。
田中委員	タクシー事業者としては、現状でも、特にサービスという意識もなく利用者の方の荷物を載せ降ろしするお手伝いをしている。
野村会長	利用登録の際に、「一人で乗降車や荷物の載せ降ろしができる」ことが要件になるのかもしれない。そうでない方は別のサービスとして福祉タクシーを案内するなど、誰のためのサービスなのかという点はきちんと整理する必要がある。
野村会長	ほかにご意見やご質問等はあるか。
野村会長	お気づきの点等あれば、後日でも結構なので事務局まで報告願う。
野村会長	3. その他 続いて、その他の伝達事項について、事務局より説明願う。
事務局	次回の地域公共交通会議の開催予定について案内
事務局	「【協議事項1】丹波篠山市地域公共交通計画の素案について」意見等の事務局への報告期限の案内
市関係部署	市関係部署より参加の部長3名より挨拶
堀井副会長	4. 閉会 閉会のあいさつ